

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年8月16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900385		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム 千代田の里	ユニット名	たんぽぽ
所在地	〒315-0072 茨城県かすみがうら市東野寺495-1		
自己評価作成日	平成22年12月20日	評価結果 市町村受理日	平成23年8月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年2月24日	評価確定日	平成23年7月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>都市化の進行と、自然豊かな環境を併せ持つ地域の中で、開設以来8年以上を経過し、市民の皆様方に存在を認識していただけてきております。入所されているご家族の皆様にも喜んで頂いている事が励み担っております。法人の傘下には特別養護老人ホームも多数あり、希望に応じてのサービスを提供出来るようになっておりますし、グループホームも多数あり、お互いに切磋琢磨しサービスの向上を目指しております。関連施設には医療法人もあり、医療に関する相談指導が何時でも受けられる体制が整っております。特に精神医療の専門医師がおり専門的な医療相談が受けられます。又隣接地には医療法人の介護老人福祉施設や保育園が有ります。保育園とは定期的に交流が図られるようになっており、お年寄りや園児が和気藹々と過ごせる事は正に家庭の延長のようです。職員の定着率・学習意欲も高く献身的に介護に努めております。市内には数多くのグループホームが存在しておりますが、入所希望者には気軽に立ち寄り、希望が叶えられる施設にして参りたいと考えております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者と職員は利用者一人ひとりの思いを尊重し、個々に寄り添い見守るケアを実践することにより利用者は穏やかな生活ができるという信念をもってケアにあたっている。</p> <p>利用者が今までの生活を継続できるよう地域の祭事への参加を支援しているほか、事業所見学会を実施したり、実習生や芸能ボランティアを受け入れ、利用者が地域の人々と交流ができるように支援をしている。</p> <p>利用者は隣接する保育園の園庭で遊ぶ園児を見たり声を聞いたりして過ごすなど、地域の一員として暮らしている。</p> <p>運営母体の医療機関や同一法人他施設と協力関係を築いているため、医療に関する相談がいつでも受けられ、利用者や家族等のもとより職員の安心にもつながっている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念と、ホーム運営規定を掲げ、実践する為に、利用者がその人らしく暮らしていけるよう、利用者に目を向け、何を成すべきかを考え、全員で共有し実行している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成するとともに玄関や事務室、各ユニットに掲示し、職員は朝礼で唱和して共有している。 職員は利用者一人ひとりに寄り添い、自分らしい生活ができるように支援するなど、理念の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接する保育園の園児との交流、小学校の運動会や文化祭、市の敬老会、地域のお祭りにも参加している。ホームの行事に地域の人々の参加を呼びかけたり、日曜日には道路の清掃活動を行うなど、地域の方々との交流に努めています。	利用者は職員と一緒に地域の資料館や病院の芸術祭、小学校の行事を見学したり、市の敬老会や地域の祭りに参加して地域の人々と交流している。 中学生の体験学習や芸能ボランティアを多数受け入れている。 隣接する同一法人他施設の利用者と互いに訪問し合い、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や、介護相談委員さんを通じて、地域の方々の理解を頂き、介護相談・災害等の支援など事業所として出来ることで貢献して参ります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議において、利用者の生活状況や行事の報告をし、委員の方より助言を頂きサービスに努めます。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、市職員、民生委員、地域の代表者で開催し利用状況や行事報告をしているが、2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。 会議では委員から積極的な発言が少ないこともあり、議事録に具体的な発言内容を記録するまでには至っていない。 運営推進会議に家族等の代表は参加しているが、全家族等に運営推進会議の開催日時を知らせていない。	事業所は23年度は運営推進会議を年6回開催することを目標にしているので、実現することを期待する。 運営推進会議の開催日時を事業所便り等で全家族等に知らせ、家族等の意見を募ったり、活発な意見交換ができるよう取り組むとともに、委員から出た意見等を記録してサービスの質の向上に活かすことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて相談をし、随時連絡を取り合っている。	管理者は頻繁に市担当者を訪問し、運営や設備に関する相談をするほか、生活保護受給の利用者について市担当者と密に連絡をしている。 介護相談員を月1回受け入れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を行い、全職員が正しく理解できるように努めると共に、ケアの実践に取り組んでいる。	玄関は施錠せずチャイムを設置したり、各ユニットの居間からベランダに出られるなど、職員は利用者が自由に外へ出入りができるように支援をしているが、身体拘束排除に向けた職員研修を実施するまでには至っていない。 家族等の依頼を受けて、利用者がベッドから落ちてしまわないように職員間で検討しベッド柵を使用しているが、書面で家族等の同意を得たり経過を記録するまでには至っていない。	緊急やむを得ない理由で身体拘束をする場合は、書面で家族等の同意を得るとともに、経過を記録することを期待する。 全職員が禁止の対象となる身体拘束の具体的な行為を認識できるよう、研修会や勉強会を実施することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者が安心して生活をして頂けるように、入浴、トイレ介助等、ボディチェックを行い、注意すると共に日々虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	まだ不十分ではあるが、勉強し、話し合いに機会を持ち、互いに理解するよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者・家族に、利用開始時に重要事項説明書等や、口頭で分かり易く説明し、納得の上で契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者委員会を設けたり、窓口にご意見を頂くコーナーを設置したり、利用者が日頃望んでいる事を引き出せるようにした対応をしています。	職員は利用者や家族等が意見を出し易い雰囲気づくりに努めるとともに、利用者からは日々のふれ合いの中から、家族等からは来訪時に声をかけ意見や要望を聴き、出た意見等を運営に反映させている。 毎月事業所便りを発行し、利用者の日頃の様子を伝えることで家族等が意見や要望を出し易くなるように努めている。 介護相談員を受け入れ、利用者が事業所以外の外部の人に意見や苦情を表せる機会を設けている。	更に利用者や家族等の意見等を汲みあげるために無記名の家族アンケートを実施するとともに、出た意見等を運営に反映することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	家族がご意見等を気軽に話せて、相談できるようにして、運営に反映させている。	管理者は職員会議を開催し職員の意見等を聞く機会を設けるとともに、出た意見等を検討し運営に反映させている。 職員が意見やアイデアを書いて代表者や管理者に提案する様式を作成し、職員が積極的に意見等を出せる仕組みを設けている。 事業所の設備や食材の保管方法、職員の勤務シフトや昼食など、職員から出た意見等を話し合い運営に反映させるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則、給与規定により就業環境の整備に努め、働きやすい職場造りに努力しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内には、研修委員会が設置されており、それぞれの段階に応じた研修を受講しております。施設内においても随時勉強会を開催し相互の研鑽に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会の研修会に参加し、他の施設の方々との交流を通じて、研鑽を図り資質の向上を目指しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	受容、傾聴、共感を忘れずに、利用前の面接で、困りごと等を把握に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の気持ちを思いやり、これまでの介護の労をねぎらいながら面接に望みます。現状や困りごとの把握し、利用者様にも施設の見学をして頂き不安な気持ちを取り除くようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時、今何が必要か優先順位を予め決め、必要な事から対応しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔からの風習や行事を、日常生活の中に取り入れることや会話の中から教えていただく事が多だあり、感謝の気持ちを素直に伝えております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	普段の会話の中で、昔からの風習や行事など利用者から教えてもらう。又昔話に共感したりしています。利用者と共に協働しながら和やか生活が送れるように努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の理解と協力を得て、継続できるように支援しています。	職員は利用者が希望する馴染みの場所に出かけられるよう、買い物や初詣などに同行している。 遠方でも家族等の協力を得て外出ができるよう、職員は利用者の希望を家族等に伝えている。 兄弟や友人の来訪時には談話室に案内し、ゆっくり話ができるように支援をしている。 馴染みの人との関係が途切れないよう電話や手紙のやりとりを支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩やクラブ活動を通して、会話しながら利用者同士が支えあえるように支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、病院等に入所されても施設訪問をし、相談事があれば相談に乗るようにしております		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や関わりの中から、一人ひとりの思いや意向を把握すると共に、利用者の視点に立って意見を出し合い討議をしています。	職員は基本情報から利用者の生活歴を把握するとともに、利用者や家族等から話を聴き希望や意向の把握に努め、希望にそった支援に努めている。 意思疎通が困難な利用者の場合はしぐさなどから思いを汲みあげ、利用者本位に支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に事前調査を行い、病歴や生活歴の把握をするために情報の収集をしています。又、日々の会話の中で以前の生活についての会話をし、情報を得ています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活状況を見ながら、日々を有意義に過ごせるように努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を開催し、利用者ご家族や本人の意向を踏まえて、職員の意見等を取り入れた介護計画を作成している。作成した介護計画を家族に確認して頂き、同意を頂いております。	介護計画は利用者や家族等の来訪時に意見や要望を聴き反映させるとともに、毎月の職員会議で話し合い職員の意見等を取り入れて作成しているほか、モニタリングを実施して3ヶ月から6ヶ月毎に見直し、家族等の確認を得ている。 利用者の退院時や心身の状態に変化が生じた場合は、随時状態に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を作成し、心身の状態、行動を記録し、介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院介助等、そのときに応じた多様なサービスに努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の機関、例えば民生委員やボランティア、警察、消防、文化、教育機関などは、必要に応じて協力が得られております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関から、利用者の既往病歴等の情報を得ている。本人や家族の意見を聞き、継続して医療が受けられるよう支援している。又、希望に応じて歯科・眼科の訪問医療が受けられるよう支援体制が出来ている。	利用者や家族等の意向を確認し、希望するかかりつけ医への受診を支援しているほか、法人関連の協力医療機関への受診も支援している。 精神科や専門医への受診は職員が付き添い、結果を家族等に報告をしている。 歯科と眼科は訪問診療が受診できるように支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけの病院・協力病院及び法人傘下事業所の看護師と連携や相談し知識を習得し、日々の健康管理に努めながら、受診や処置の支援をいただいております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、日々の生活状況を説明し、入院中はまめに様子を伺い、本人、家族、医療機関ととの話し合いの上で対応しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本に、家族、医療機関関係者を含めて話し合い、方針を決め状態に合わせた対応をしております</p>	<p>看取りに関する指針や同意書を作成しているが、事業所としてどこまで支援できるのか方針が定まっていないため、家族等に説明するまでには至っていない。</p>	<p>重度化や終末期への対応について、現状に即した事業所の対応指針を作成し事業所全体で共有するとともに、利用者と家族等に説明して同意を得ることを期待する。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全員が上級救命の講習を受け、AEDの取り扱い技能を修得しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署の協力を得て消火・避難訓練を実施しております。又毎月避難誘導訓練を実施しております。地域の皆様の協力が得られるように消防団への協力依頼をしております。</p>	<p>年2回夜間の想定を含む避難訓練を実施しているほか、毎月避難誘導訓練を実施しているが、実施記録を作成するまでには至っていない。 隣接する同一法人他施設と災害時の協力体制を構築しているが、近隣住民に避難訓練への参加を呼びかけたり協力体制を構築するまでには至っていない。 災害時に備え食糧や飲料水等を備蓄している。</p>	<p>避難訓練の実施記録を作成するとともに、訓練で明らかになった課題等を記録に残し、今後の訓練に活かすことを期待する。 災害時における近隣住民との協力体制の構築に取り組むことが望まれる。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりのペースに合わせた声掛け傾聴をしている。又、個人情報の取り扱いには十分注意をしています。	職員は排泄介助時には利用者に小声で声をかけ、気を配りながらトイレに誘導するなど、利用者の人格を尊重した対応に努めている。 個人情報の書類等は職員以外入室しない事務室に保管し、情報漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が分かるような話し方をし、思いや希望が叶うように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合で行動するのではなく、利用者のペースに合わせた過ごし方を支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみができるよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を一緒にしながら、食べ方の混乱や、食べこぼし等に対するサポートをさり気なく行い、又食事の準備や片付けも行って頂いております。	利用者は一人ひとりの能力に応じて食事の準備や後片付けをしている。 行事の際は特別メニューを提供するほか、誕生会には家族等を招待し赤飯やケーキで祝っている。 職員は弁当持参であるが、利用者と同じテーブルを囲み、利用者の食事を介助しながら楽しく食事ができるように支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立等は、委託した栄養士により管理されており、医師の指示や、本人の希望も取り入れた、個々に合わせた形態になっております。摂取量はアセスメントシートに記録しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後のうがいを進めております。出来ない方や不十分な方は介助にて行っております。入れ歯を使用されている方は毎晩洗浄しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録や、アセスメントシートを活用し、個々の状況を把握し、羞恥心に配慮した声掛けや介助を行っております。オムツを利用していてもトイレ利用を促し、排泄の自立に向けた支援をしております。	職員はアセスメントシートで利用者の生活リズムを把握するとともに、排泄記録を活用し時間やタイミングを見計らって声かけ誘導し、トイレで排泄ができるよう支援をしている。 職員は利用者が失敗した場合は周囲に気付かれないように自室や風呂場に誘導し、利用者の自尊心を傷つけないように配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の不足に注意し、散歩などを通して、身体を動かすように声かけをしております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの体調や希望に応じた入浴の支援をしております。入浴記録票を活用し入浴拒否者への対応や、体調不良時の清拭等個別に対応しております。又入浴剤を活用し、気持ちよく入浴して頂けるよう心がけております。	一日おきの入浴を基本としているが、希望する場合は毎日の入浴も可能である。 入浴は利用者の納得いく順番に調整したり、女性の利用者の着脱は女性職員が対応するなど、利用者の意見を尊重し楽しい入浴となるよう支援をしている。 入浴剤を利用して変化をつけたり、体調不良で入浴できない場合は清拭などで対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転しないように注意し、夜間にぐっすり休んで頂けるよう工夫しております。一人の状況に合わせて、安心して気持ちよく過ごせるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が手渡しし、服薬の確認を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の出来ること、興味、趣味を活かした支援をしております		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、外気欲を兼ねた散歩を楽しみながら、ドライブ、買物を支援している。ホームの中だけで過ごさずに、積極的に近所に出かけて楽しめるような雰囲気作りをしています。	利用者は天気の良い日は事業所周辺で外気浴を楽しんでいる。 職員は利用者の希望する日用品や薬局への買い物に同行している。 外出を予定していない場合でも、利用者の希望で花見を兼ねたドライブに出かけたり、近隣の神社に気軽に出かけている。 施設長が市役所などに外出する際は、利用者を誘い一緒に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じて、一緒に買物をする事で対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの要請で対応しております。自ら対応できない方は、職員が代行する事もあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	隣接している保育園の園庭をを囲むように3ユニットの建物が配置され、どのユニットのリビングからも園児達の遊ぶ姿を見る事が出来、利用者の目を楽しませている。又花壇には季節ごとの草花が植栽されております。リビングには利用者の写真やクラブ活動の作品が展示されております。	広い共用空間は清潔に保たれ、適度な採光を取り入れて明るさを調整している。 リビングや廊下にソファを配置するとともに、利用者が横になれる小上がりの畳部屋にはタンスなどを置き家庭的な雰囲気となるように工夫をしている。 玄関脇にピアノが設置された談話室があり、ミニコンサートを開催したり、家族等や知人の来訪時に利用している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日当たりが良く外の風景が見え、園児達の遊ぶ姿が見え、又個室やテレビ、ソファのあるリビングは自由に使える庸に配慮されております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族と相談し、自宅で使用していた物を置く等して安心して生活が出来るようにしております。その人らしい居室作りに心がけております。	居室は広くエアコンや整理タンス、ベッドが備え付けられているが、利用者に合わせて布団を使用することもできる。 利用者は自宅で使用していた整理タンスや椅子、テレビ、雑貨類を持ち込んでいる。 本が好きな利用者が壁2面を利用して本棚を作ったり、ぬいぐるみや家族の写真、自作の絵画を飾るなど、居心地よく暮らせるよう工夫をし、家族等や職員と協力しながら思い思いの居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで、各所に手摺が設置されております。又利用者一人ひとりが自立した生活が出来るよう配慮しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム千代田の里

作成日 平成23年8月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の年6回の開催	定期的に年6回の開催	年間スケジュールの作成	短期的に
2	6	身体拘束をしないケア	やむを得ない場合の家族の同意を得る	職員研修の開催	短期的に
3	10	利用者・家族の意見の反映	意見や苦情を言える機会の設定	アンケートの実施	短期的に
4	33	終末期に向けた方針	見取り指針の家族同意	職員での意思統一	短期的に
5	35	災害対策	避難訓練の充実	訓練記録の作成	短期的に

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。